

ピアノストーリーズ

門間雄介著

一台のピアノがつむぐ人の幸せ。
その連鎖は最高の物語となる。

小山薰堂



ピアノを愛する人たちがつないだ、前代未聞のプロジェクト！

絶賛
発売中！

「ピアノをぜひ欲しいという想いを、
直筆の手紙で応募してください」

山野楽器の音楽教室で役目を終えたピアノたちが、
修理ののちに手紙の送り主たちのもとへと送られました。
そしてそれぞれの場所で、小さな奇跡の物語が生まれたのです。

「音のシャボン玉」(P.9)

中難度難聴のため、家族で山梨に引っ越した小学4年生の高橋吟侍君は、天才的なピアノセンスを持つ。将来はピアノで皆を癒したいと語る彼と家族の、心が清々しくなるストーリー。

「密やかな演奏会」(P.103)

音楽好きな夫婦の娘は、小学生にして全国大会への出場を決めたが、コロナで中止に。その結果起きた奇跡。彼女は祖父が亡くなる前日に、病床で酸素マスクを付けた祖父のためにピアノ演奏会を開いた。

「豊かな光さすところ」(P.119)

震災で壊滅的な被害を受けた宮城県石巻市の雄勝地区。10年の時を経てそこに誕生した道の駅で、月命日にピアノコンサートを開き続ける音楽療法士と地元の人々の、ピアノを通しての温かい触れ合いを描く。

11の実話ストーリー

テレビ・ラジオで話題の感動の実話「100台のピアノ物語」が一冊の本になりました！